



令和4年度 気持ちも新たに

元号が令和に変わり早くも4年となりました。

そろそろ桜も咲く季節！きれいな桜を見て、気分も新たに「西部包括新聞」は手に取っていただきやすいようサイズを小さくして、隔月発行といたします。(偶数月の発行です)



写真は塩竈桜、今年もきれいな桜が咲くといいですね

地域の皆様からの情報をいただきながら、「地域の声」で紙面をいっぱいにしていきます！

随時、取材にお伺いしますので、皆様の声をお聞かせください。



西部包括 4月・5月の予定

《認知症サポーター養成講座》

4月19日 (火) 14:00～15:30

5月19日 (水) 14:00～15:30

《昔語りの会》

4月27日 (水) 14:00～15:30

5月26日 (水) 14:00～15:30

※開催場所はどちらも『西部包括』支援センターです。

※日程は変更になる場合がございます。また、受講を希望したい日がありましたら調整いたしますので、ご相談ください。

介護保険のコーナー

認知症や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を送るために、大きな役割を果たすのが、介護の知識を広く持った専門家のケアマネジャーです。

地域包括支援センターでは、西部地区にある7カ所のケアマネジャー事業所と定期的に情報交換や勉強会を行い、連携が強化できるように努めています。

お困りのことがありましたら、いつでもご相談ください。



主任介護支援専門員 佐藤理恵

まざってみっペしゅーな

令和4年の始まりは「オミクロン株」の流行によって地域活動の自粛を余儀なくされる状況となってしまいましたね。4月からは活動を再開するサークルの取材にお邪魔する予定です。取材写真は随時この新聞で紹介いたします。



今回は以前の取材写真です。

ソーシャルディスタンスを意識せずに活動できる日が早くきますように！

2月号でもお知らせしていますが、今年度は身近な地域に「カフェ」を作る計画があります。～認知症になっても安心して暮らせる地域づくり～ を私たちと一緒にしてくださる方を募集しています。少しでも興味を持たれた方は、是非「西部包括支援センター」にご連絡ください。皆様のご参加をお待ちしております。連絡先 電話（367）0414です。

みんなの福祉コーナー

～住み慣れた地域で「自分らしい」生活をテーマに、「わたしの権利擁護」「成年後見制度について」の冊子を作成しました。ご希望があれば、個人、団体どちらでも説明にお伺いいたします。是非、ご活用ください。

3月号まで掲載の「イーハトーブ通信」は、4月より「みんなの福祉コーナー」となります。

身近な相談内容を例に、福祉・権利擁護についてご案内していきます。

皆さんからの質問やご意見もお待ちしています。
(連絡は 367-0414 伊藤まで)



社会福祉士 伊藤 信子